

子供たちの学力向上を確実に図る校内研究の充実

～1年間の校内研究を振り返って～

3学期は、子供たちにとっては1年間の学習のまとめの時期です。同時に、先生方にとっては1年間の校内研究のまとめの時期でもあります。今年度の取組によって子供にどんな力が付いたのか、成果と課題を把握し、次年度の校内研究の組み立てにつなぎましょう。

4つの視点で今年度の校内研究をチェック！

①「研究のまとめ」の完成がゴールになっていませんか？

せっかく時間と労力をかけて研究のまとめを完成させたのに、あまり活用できていないな。



いつでも手に取って見られるよう、研究の進め方や検証結果、履歴などを図や表などで視覚的にまとめましょう。リーフレット形式も効果的です。

②各種調査やアンケート結果を有効に活用できましたか？

保健室の利用状況や生活実態調査などは、学力向上にどのように活用されているのかしら。



テストの得点だけでなく、各種調査のクロス集計、アンケート等を活用しながら子供の実態を的確に把握しましょう。

③子供の変容について、具体の姿が浮かびますか？

教師が何をしたかについては語る事ができるけど、子供の姿はどうだったかな。



子供が何に困っていて何ができるようになったのか、成果指標に基づいて客観的に見取りましょう。

④取組の成果を、全職員で共有できていますか？

今年度の研究の取組の成果について、全員が同じことを言えるだろうか。

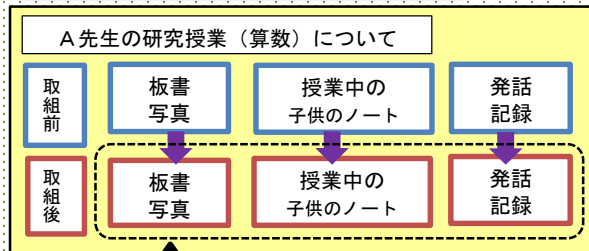


今年度の取組について、何年生でも、どの教科でも活かせることは何か、全職員で確認しましょう。

他校の取組をチェック！

取組①

本校の「研究のまとめ」は、研究授業の記録を工夫して提示しています。取組前と取組後の板書、ノート、発話記録などを上下に並べ、比較することで、子供の変容を見取りやすくしています。



何がどのように変わったのかを具体的に見取ることができる。

取組②

本校では、年度当初に設定した成果指標・目標値等に照らして、取組そのものの効果についても検証しています。指標を設定することで、目的が具体化、明確化されるので、子供の変容や取組の成果を全職員で実感することができます。



なるほど、年度当初に成果指標・目標値を設定しておくことで、より客観的な見取りができるんですね。今年度中に成果指標に使えるようなデータをそろえておかなければ…。



取組の反省を次年度につなぐ！

研究の方向性を前年度に定め、スムーズに新年度のスタートを切る！

3学期のうちに、その年に実施した学校評価や学力調査・アンケート等を生かした「現状把握」や「分析・診断」、「課題づくり」までを実施し、4月のスタートは新たなメンバーでの「組織づくり」からはじめます。こうしたサイクルをつくることで、4月当初は子供と触れ合う時間を多くもつことができ、早い時期に「実践」に移ることもできるというメリットがあります。



来年度に向けて、児童生徒に付けるべき力や授業改善の視点、ICTを効果的に活用した授業づくりについて再確認しませんか？

西部地区学力向上・新時代の教育を考える講演会

日時：令和3年1月28日（木）午後2時30分から午後4時45分

会場：ヴィレステひえづ

講師：文部科学省 教育課程調査官 笠井健一 氏

令和2年度は全国学力・学習状況調査の実施はありませんでしたが、問題を有効に活用することで、「現状把握」や「分析・診断」に生かすことが可能です。





「チームで対応」「毅然とした指導」

～こんな指導体制になっていませんか～

- 問題解決を学級担任一人に任せている。
- 学習の決まりごとや具体的な指導方針が教職員によって違う。
- 生徒指導主任と教育相談担当との連携がうまくいっていない。
- 養護教諭等の得た子供に関する情報が全教職員で共有されていない。
- 管理職が教職員個々の生徒指導の実態を十分に把握していない。

(生徒指導資料第3集「規範意識をはぐくむ生徒指導体制」:平成20年3月)他より

「チームで対応」

些細なことでも気になることがあれば、問題行動として捉え、生徒指導担当や教職員で情報共有し、複数の教職員で対応しましょう。

～問題行動等が発生した時の指導の進め方(例)～

①事実確認

事実を正確に把握

- ◆複数の教職員で事情を個別に聞く。
- ◆客観的な事実(5W1H)を時系列で記録する。

教職員で共通理解

- ◆生徒指導担当を中心に全教職員で情報共有する。
- ◆場合によっては、プロジェクトチーム等をつくる。

指導方針の決定

- ◆校内の規定や事実に基づいて指導方針を明確にする。
- ◆指導する教職員、場所、時間、内容等を決める。

(例)・机を不自然に離す。
・授業に5分程度遅れて入る。

②子供への指導

- ◆場合によっては、担任や生徒指導担当以外の教職員が指導する。
- ◆指導後、別の教職員が子供の思いを聞いたり、フォローしたりする。

③保護者への説明

- ◆担任だけでなく、生徒指導担当や学年主任も一緒に保護者へ説明する。
- ◆説明した内容や保護者の思いを管理職に報告し、全教職員で情報共有する。



「校内の子供は全教職員で関わり指導していく」という意識を持って指導することが重要です。
SCやSSW、福祉関係や医療、警察などの関係機関との連携も図りましょう。

「毅然とした指導」

教職員が足並みをそろえて「いけないことはいけない」と、毅然とした態度で繰り返し粘り強い指導をしていきましょう。

【毅然とした指導の対応(例)】

- ①指導にあたっての方針・基準を明確化・具体化し、全教職員で共通理解する。
・時間は必ず守る。・授業中に私語をしない。
- ②校内で決めた指導方針・基準に従って指導を徹底する。
・「見守り」や「受容」の姿勢を大切にしながら、間違っていることは間違っていると指摘する。
・その場で、何に對しての注意かを明確にして指導する。

毅然とした指導をすることで、

- ◆教職員にとって・・・何を指導すべきか明確になり、指導に差が生じない
 - ◆子供たちにとって・・・いけないことは何かが分かりやすく、不公平感を感じない
 - ◆保護者にとって・・・「この学校は指導に関して、全教職員で曖昧にせずに対応してくれる」という安心感が生まれる
- といったことにつながります。



教職員が「小さいことだから見て見ぬふりをしてもいいか」「子供だからまあいいか」と安易に考えて、些細な出来事に潜む問題を放置してしまうことが、大きな事案につながります。**時期を逃がさない毅然とした指導を学校全体で行っていきましょう。**また、問題行動等は子供からのSOSです。指導する前に**問題行動等に至った背景をしっかりと理解し、子供に寄り添った指導をしましょう。**



特別支援教育ほっと通信



令和3年1月
西部教育局

確実な引継ぎ

切れ目ない支援の実現

安心して学べる場の保障

年度末に行うことを改めて確認し、
引継ぎの準備やまとめをしましょう。

【学習指導】

学習指導に関する資料

- 教室環境
- 各教科等で使用した教材・教具（プリント類、指示書・手順書 等）
- 授業や生活、行事等の様子（写真、作品の写し 等）
- その他学習の参考となるもの（写真・ビデオ 等）
- 授業研究会の指導案や研究会記録
- 個別の教育支援計画の評価・見直し

通知表の作成

個別の指導計画の評価・見直し

- 児童生徒の実態の加筆
- 次年度の「個別の指導計画」（案）の作成
- 指導内容、指導における工夫、児童生徒の変容等についての評価と見直し
- 目標及び指導内容等の達成状況の記録

交流学級担任との連携

- 年間の指導等についての反省
- 次年度への引継事項の確認

次年度の教育課程についての協議・編成

- 各教科／自立活動／各教科等を合わせた指導／交流及び共同学習 等

通知表は、学習したことの羅列やエピソード記録ではなく、
児童生徒の学習への取組の様子、個人目標に対する評価や
変容の様子等を簡潔に記載することがポイントです。

子供たちの力を
最大限まで伸ばす!



「特別支援教育の手引き」令和2年3月 鳥取県教育委員会 42ページより

目標設定【抽象的な目標→評価ができない】⇒【具体的な目標→評価が可能に!】

具体的な目標設定の方法については、教務主任等研修会（令和2年12月7日開催）で紹介した「**抽象
具体分析・ビデオクリップ法**」を参考にしてください。

↑情報が必要な場合は、西部教育局までお声かけください。

少人数かつ短時間で
目標の具体化が可能に!

1年間の成長を確認するとともに、次に目指す姿を明確にしましょう。
また、新年度のスタートで子供たちが困らないように、**確実に引継ぎ**をしましょう。



- 個人ファイルを作成し、資料等を整理して綴りましょう。（インデックスの活用）
- 引継ぎに当たっては、「いつ」「だれと」「何を」「どのように」を確認しながら準備をしましょう。個別の教育支援計画、個別の指導計画、個人ファイル等を十分に活用しながら、引継ぎを行いましょ。
- 個人情報の取扱い及び保管場所に留意しましょう。
- 個別の教育支援計画は、指導要録の指導に関する記録の保存期間を参考に、5年間保存が望ましいと考えられます。保存方法については、学校の設置者（当該市町村（学校組合）教育委員会）に確認しておきましょう。

特に、大きく学びの場等が変化する場合（進学や就職時）は、「困難さ」だけではなく、「効果的な環境整備」や「支援のこつ」など、具体的に支援内容を引き継ぐことが大切です。

（例）○○すれば□□ができる。●●な状況が見られるが、△△があれば□□することができる。

中学校から高等学校への引継ぎについては、県教育委員会高等学校課が作成したリーフレット（高等学校課HPに掲載済み）も参考になると思います。是非、御覧ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1228603/hikitugitirasi.pdf>



西部地域開催

鳥取県エキスパート認定教員による

西部教育局
令和3年1月

公開授業及び研修会のご案内

チャンス!

子供たちが「わかった」「できた」を実感する授業を行うためには、教育技術を磨き続けることが大切です。優れた教育実践を行っておられるエキスパート教員の授業を参観することは、とてもよい機会です。
この機会をぜひ、ご自身のスキルアップに御活用ください。



1月22日(金)

認定分野
「特別の教科 道徳」

米子市立
成実小学校

米子市奈喜良81番地

●授業者
花井 康代 教諭

●開催時間
【受付】 13:20~13:40
【公開授業】13:40~14:25
【研究協議】14:40~16:40

申し込み締め切り
1/15
(金)

●授業内容
【授業者】第6学年
よりよく生きる
「マザー・テレサ」
【授業のポイント】
・マザー・テレサの生き方から、「よりよく生きる」とはどういうことなのかを考え、自分の生き方に生かしたいと思う心を育てる。
・偉人を取り上げた教材について

1月22日(金)

認定分野
「外国語活動・外国語」

米子市立
福米東小学校

米子市東福原5丁目7番1号

●授業者
山中 健一 教諭

●開催時間
【受付】 13:10~13:30
【公開授業】13:40~14:25

申し込み締め切り
1/15
(金)

●授業内容
【授業のポイント】
【単元名】第5学年
Unit 7
「Welcome to Japan.」
(NEW HORIZON Elementary)
・授業でICTを活用した活動
①Warm-Upでの活用方法
②評価する際の活用方法

1月29日(金)

認定分野
「中学校 社会」

伯耆町立
溝口中学校

西伯郡伯耆町長山481番地

●授業者
林原 和彦 教諭

●開催時間
【受付】 10:30~10:45
【公開授業】10:45~11:35
【研究協議】11:45~12:15

申し込み締め切り
1/26
(火)

●授業内容
【授業のポイント】
【単元名】第1学年
社会科地理的分野
第3章 世界の諸地域
4節 北アメリカ州
・アメリカ合衆国に関する既習知識を活用しながら、対話により学習を深めることのできる授業が行えたと考えています。

1月から3月にかけて、週1回、継続して公開されます。公開日は、下のとおりです。

1月14日、1月28日、
2月18日、2月25日、
3月4日



毎週木曜日の6校時

認定分野
「外国語活動・外国語」

境港市立
外江小学校

境港市外江町2105番地

●授業者
吉田 勝雄 教諭

●開催時間
【受付】 14:35~14:45
【公開授業】14:50~15:35
【研究協議】15:50~16:30

申し込み締め切り
授業日の一週間前

●授業内容
【授業のポイント】
【単元名】第5学年
Unit 7 ~ Unit 8
・アウトプット活動を通じて、学ぶことを楽しみ、コミュニケーションに積極的な児童の育成をめざす授業。

☆感染症対策へのご協力をお願いいたします。



ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。
また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。
※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますのでご注意ください。

参加
申込